



半促成スイカ栽培での病害虫防除対策

スイカの茎葉が繁茂すると、株元や葉裏などの観察がしにくくなってきますが、管理作業の際などには出来るだけ丁寧に周囲を見渡し、病害虫の早期発見と発生初期の防除に努めてください。

防除対策のポイント

病害

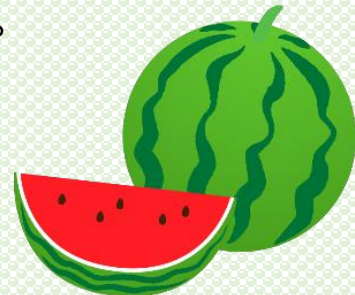
つる枯病、炭疽病、菌核病、うどんこ病

いずれの病害も多湿条件や曇雨天が続くと多発生しやすくなります。

害虫

アブラムシ類、ハダニ類

アブラムシやハダニ類は、高温で乾燥した条件を好み、圃場周辺の寄生植物から移動してきて増殖します。



【耕種的防除】

1) ハウスやトンネルの開閉等による通風や換気、適正な土壌水分の管理などに努め、また、敷きワラやマルチをして、灌水による水滴の跳ね上がりが直接茎葉や果実にあたらないようにします。

【化学的防除】

1) 薬剤散布は、晴天の日を選び、夕方までに薬液が乾くような時間帯に散布することが重要です。その際、薬液が葉裏や下葉にもよくかかるように行い、収穫前日数にも注意してください。
2) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、分類（コード）の異なる薬剤でローテーション散布してください。

表1 スイカ生育中のつる枯病、炭疽病、菌核病、うどんこ病の主な防除薬剤

(令和7年2月27日現在)

薬 剤 名	対 象 病 害				希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類	ミツ パチ※
	つる枯病	炭疽病	菌核病	うどんこ病				
ベルコートフロアブル	○	○	○	○	1,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内	M07	○
ペンコゼブ(ジマンダイセン)水和剤	○	○			400~600 倍	収穫 7 日前まで / 7 回以内	M03	○
ドキリンフロアブル	○	○			500~1,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	M01	1 日
ダコニール 1000		○			700 倍	収穫 3 日前まで / 5 回以内	M05	○
	○				700~1,000 倍			
パレード 20 フロアブル	○		○	○	2,000~4,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	7	○
スクレアフロアブル	○	○	○		2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	11	1 日
シグナムWDG			○		1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内	7 と 11	—
	○	○		○	1,500~2,000 倍			
スコア顆粒水和剤	○	○		○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	3	1 日
ポリベリン水和剤	○	○			1,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内	19 と M07	2 日
				○	1,000~2,000 倍			
トップジンM水和剤		○	○		1,500~2,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	1	○
セイビアーフロアブル 20		○	○		1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	12	○

注1) 表1の分類欄にはFRAC また表2にはIRACコードを記載しました(コードが2つは、混合剤です)。同一分類は作用点が同じなので、連用は避ける。

注2) 表1および2のミツパチ※は、ミツパチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針(令和6年版)より抜粋し、○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載していますが、天候、施設内の環境条件により日数の前後することがあるので注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

表2 スイカ生育中のアブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の主な防除薬剤

(令和7年2月27日現在)

薬 剤 名	対 象 害 虫			希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類	ミツ パチ※
	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類				
モベントフロアブル	○	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	23	1 日
グレース乳剤		○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	30	—
モスピラン顆粒水溶剤	○		○	2,000~4,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内	4A	1 日
ハチハチフロアブル			○	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	21A	5 日
	○			1,000~2,000 倍			
ウララDF	○			2,000~4,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	29	○
チェス顆粒水和剤	○			5,000 倍	収穫 3 日前まで / 4 回以内	9B	○
マイトコーネフロアブル		○		1,000 倍	収穫前日まで / 1 回	20D	1 日
カネマイトフロアブル		○		1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	20B	○
コロマイト乳剤		○		1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	6	1 日
スピノエース顆粒水和剤			○	5,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	5	2 日

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

■ 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。

農機営農支援部 営農支援課 電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040